



エコまる

サポーターズ・ニュース

No.12

前号に引き続いて「活動報告」を紹介します

倉淵エコクラブ

- ・環境フェスティバル(10/27)講演会「フロンを回収しよう オゾン層保護と地球温暖化の対策」に参加(大2・小3)
- ・環境調査(こども環境測定士として参加)夏休み中
- ・セミのぬげがらをさがせ! 夏休み中に近くの畑、山などをさがしました。
- ・山林への不法投棄の清掃活動(7/20 海の日に実施)
- ・じゃがいも掘り・さつまいも掘り(11/4)
- ・各家庭で紙パック、ペットボトル、あき缶のリサイクルをすすめよう! 買い物ではマイバッグをもとう!
- ・種子収集…砂漠の緑化に役立てる事業に参加。今までに収集した種を10/30に送付。

■途中入会でしたので、1年間の計画を立てず、できることをやってみようという取り組みました。まず、森、山林の現状を知るために清掃活動をし、現実を目の当たりにしてそれぞれ感じるものがあったと思います。外材を輸入し、いろんな意味で生命を育むべき日本の山が弱くなってきている。また、外材輸入等による森林破壊を考え、子どもたちと種子の収集をしようということになりました。



元総社エコクラブ「わんぱく探検隊」

■元総社エコクラブは結成6年目に入り、活動も定着してきた感があります。今年度もクラブの子どもたちとサポーターの大人たちが力を合わせ、トレーニングとアクションに取り組んでいます。

- ・環境学習では県の地域環境学習会にも参加。地球の温暖化(6月)、オゾン層の破壊(6月)、酸性雨の被害(7月)について勉強しました。
- ・環境調査では毎年定点観測をしている牛池川の水質調査を9/8に行い、その結果は表にして県へ提出しました。
- ・自然観察では、8/17「赤城自然園」で森林教室を行い、樹木の名前や草花、昆虫について観察、記録をとりました。また、翌日は赤城山山頂大沼畔で野外活動やウォークラリー、レクを行いました。こういった山での生活は冬のスキーとともに、子どもたちの一番の楽しみな活動です。
- ・農業体験は、何人かの子どもがエコ農園でさつまいもやじゃがいもの植え付け、いも掘りを体験しています。
- ・清掃は、クリーン作戦で4月から10月頃まで、毎月子どもと大人が都合をつけ、川や道路のゴミ拾い、草刈りをしています。
- ・その他、地域の文化祭(10/25~27)でリサイクルバザーを行ったり、マイバッグキャンペーンをしたり、かへ新聞の展示でこれまでの活動を紹介したり、環境問題についての啓発活動を毎年行っています。特に今年は、子どもたちが頑張っており、かへ新聞を8枚も書いて、その内2枚は10/27の県環境フェスティバルに出しました。

■毎年、子どもたちはよく参加するので感心しています。10月迄で大きなアクションは終わりましたが、これから12月の反省会、2月の県の交流会とスキー交流会があります。



<文化祭でのかへ新聞展示>



里山ジュニア

- ・4月 里山の草刈りと植樹、間伐材テーブル作り、学習会「タンポポの種類と見分け方」
- ・5月 群馬県植樹祭(黒保根村)参加、野鳥の生態観察と野鳥池作り、切り株いす作り
- ・6月 間伐材一本橋作り、NHK出演(いと6けん)
- ・7月 田んぼの水路でさかなとり(しかけづくり、えさあつめ)、学習会「夏の雲の種類と名前知っているかな?」
- ・8月 田んぼの生きもの調査 2002(環境省)参加、ザリガ二つり大会、こども環境測定士調査・報告活動
- ・9月 「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」団体活動部門提出

■平成13年度より子どもたちの会として活動していましたが、本年度6月に正式にこどもエコクラブとして登録しました。主な活動フィールドである地元の里山は、大人たちにより手入れが進み、いよいよ子どもたちの出番といったところです。6月にはNHKテレビにも出演し、良い経験となりました。自然に親しみ、自然のサイクルを感じながら活動する中で、学年や男女を越えた子どもたちの輪の広がりをたのしく思っています。



地球にやさしい作文・活動報告コンテスト

里山ジュニア 環境大臣賞受賞！

読売新聞社主催の第12回「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」で、千代田町のこどもエコクラブ「里山ジュニア」が、団体活動部門の最優秀賞にあたる『環境大臣賞』を受賞しました。「粗大ゴミだらけの平地林から私たちの里山になるまで」をテーマにした、原稿用紙と資料あわせて15枚の大作です。里山ジュニアの成り立ちから、活動報告、工具の使い方や自然を利用した遊具、環境省「田んぼの生きもの調査」の報告、野鳥の池づくり、野鳥観察小屋、植樹などを、子どもの視点で詳しくしかも楽しいレポートに仕上げました。「まとめの言葉」の部分だけですが紹介します。



これからは、今までどおりに林の下草狩りや間伐の手伝いをするだけでなく、この林にどのような木や草が生えているか、どのような昆虫や野鳥がいるか知りたいと思っています。きのこもたくさん生えてきたので、その種類や食べられるかどうかの見分けかたも勉強したいです。また、ボーイスカウトや小学校の遠足などでここに来る子供たちが増えてきたので、私たちが林の案内ができるようになりたいと思っています。そして、多くの人と楽しくふれあうことができればいいなと思っています。

里山クラブのおじさんやおばさんが活動する前までは、林の道を通るときは怖かったのですが、今のようにきれいで気持ちの良い場所になると、自然っていいなと思えるようになりました。空き缶はもちろん、テレビ、エアコン、洗濯機、タイヤ、自動車まで捨てられていた林が、きれいになるにつれて、ほとんどゴミは捨てられなくなり、今はとてもきれいなままです。人の心には、きれいなものを汚すのはうしろめたい気持ちがあるのかなと思いました。これからも大人たちと一緒に、気持ちのいい自然を守る手伝いを続けていくつもりです。このきれいな里山で、木々や草花、鳥や動物の観察をしたり、たくさんの友達と仲良く遊びたいと思っています。



HP開設中

以下のクラブは活動の様子をHPで公開しています。ぜひご覧になってください。県こどもエコクラブHPの中の登録クラブ紹介(14年度)のページからリンクできます。

- ★元総社エコクラブ「わんぱく探検隊」
- ★前橋市立朝倉小学校
- ★前橋市児童文化センター 子ども環境冒険隊
- ★前橋市立芳賀小学校 5年生
- ★藤岡市立美九里東小学校自然環境クラブ
- ★ヤマメクラブ
- ★しらさわエコキッズクラブ
- ★玉村こどもエコクラブ



平成14年度
県内クラブの登録状況
登録 69クラブ
会員 1134名
サポーター 163名
(11月22日現在)



★編集後記★

県こどもエコクラブ交流会の案内を送らせていただきました。すでに参加・発表・壁新聞の申し込みが届いてきています。どんどんお申し込みください！

…県庁の窓から雪をかぶった三国連山の輝きを眺めることができます。いいですよ。ぜひ、展望ホールに遊びにおでかけ下さい。(川上)

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

Tel.027-226-2817 Fax027-243-7702

群馬県環境政策課内 こどもエコクラブ群馬県事務局

E-mail kawakami-t@pref.gunma.jp

URL www.pref.gunma.jp/d/01/eco/index.htm